



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月8日

上場会社名 **櫻護謨株式会社**

(コード番号：5189 東証第2部)

(URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>)

問合せ先 代表者 取締役社長 中村 浩士

責任者 常務取締役総務・資材担当兼総務部長 中野 伍朗 TEL：(03) 3466-2171

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

たな卸資産の評価、税金費用の計算のそれぞれについては、一部簡便的な方法を採用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

重要な引当金の計上基準（詳細は添付資料）

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満切捨

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	5,542	1.5	512	57.8	466	81.7	198	67.3
18年3月期第3四半期	5,458	6.5	324	21.0	256	11.8	118	△5.3
(参考)18年3月期	7,799		494		403		229	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	19 67	—
18年3月期第3四半期	11 76	—
(参考)18年3月期	19 23	—

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みはあるものの、企業収益の改善と設備投資の堅調な推移により、景気は緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、国内経済の地域格差は、なお改善を必要とするところも多く、国内を主要マーケットとする当社においても予断を許さない状況におかれております。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、販売部門の強化、生産性の向上、新製品の開発、金融収支改善などの努力をいたしました。その結果、売上高は55億4千2百万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面においては、期初より引き続き好調な航空宇宙部門及び工業用品・その他部門の生産増により製造固定費が吸収され、営業利益5億1千2百万円（前年同期比57.8%増）、経常利益4億6千6百万円（前年同期比81.7%増）、四半期純利益1億9千8百万円（前年同期比67.3%増）となりました。

事業別の売上高状況につきましては、製造事業において、消防・防災部門の防災資機材の商品開発及び拡販努力、また、航空宇宙部門の民間航空機用部品や工業用品・その他部門の石油タンク用ゴム材などの堅調な売上により、売上高は51億5千8百万円（前年同期比1.7%増）となりました。不動産賃貸事業の売上高は3億8千3百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	10,607	2,553	24.1	252 52
18年3月期第3四半期	10,652	2,371	22.3	234 43
(参考)18年3月期	10,585	2,540	24.0	247 70

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は106億7百万円となり、前連結会計年度末より2千2百万円の増加となりました。前連結会計年度末と比較しますと、資産の部の現金及び預金は3千2百万円の減少、受取手形及び売掛金1億5千2百万円の減少、たな卸資産1億8千8百万円の増加となりました。また、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が1億6千7百万円の減少となりました。負債の部については、支払手形及び買掛金1億3千1百万円の減少、借入金は長期・短期を合わせて9百万円の減少となりました。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書

[参考] 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	7,210	390	160

(参考)1株あたり当期純利益 15円82銭

当第3四半期の業績は概ね当初予想どおりに推移しております。従って、通期の連結業績予想についても「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成18年11月15日発表)どおりであります。

※上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれております。上記予想と実際の業績の間には今後の様々な要因によって差異が発生する可能性があります。

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(千円未満は切捨)

科 目	平成19年3月期 当第3四半期末 平成18年12月31日		平成18年3月期 前第3四半期末 平成17年12月31日		増 減 金 額	(参 考) 前連結会計年度 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
資 産 の 部		%		%			
I 流動資産							
1 現金及び預金	839,124		1,101,638		△ 262,513	871,336	
2 受取手形及び売掛金	2,917,938		2,587,105		330,832	3,070,364	
3 たな卸資産	1,778,751		1,750,253		28,498	1,590,686	
4 その他の流動資産	716,652		638,332		78,319	486,260	
流動資産合計	6,252,467	58.9	6,077,329	57.1	175,137	6,018,646	56.9
II 固定資産							
1 有形固定資産	3,639,383		3,689,780		△ 50,397	3,683,773	
2 無形固定資産	35,836		35,836		0	35,836	
3 投資その他の資産	680,235		849,186		△ 168,950	847,410	
固定資産合計	4,355,456	41.1	4,574,804	42.9	△ 219,347	4,567,020	43.1
資産合計	10,607,923	100.0	10,652,133	100.0	△ 44,210	10,585,667	100.0
負 債 の 部							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	1,097,348		1,192,618		△ 95,270	1,228,423	
2 短期借入金	1,483,000		1,843,336		△ 360,336	1,613,337	
3 1年以内返済長期借入金	1,229,779		1,162,778		67,001	1,159,038	
4 その他の流動負債	1,056,267		1,049,898		6,368	911,772	
流動負債合計	4,866,394	45.9	5,248,631	49.3	△ 382,236	4,912,571	46.4
II 固定負債							
1 社債	400,000		400,000		0	400,000	
2 長期借入金	1,733,684		1,576,059		157,625	1,683,617	
3 退職給付引当金	607,965		688,383		△ 80,418	670,213	
4 その他の固定負債	446,186		368,015		78,171	379,140	
固定負債合計	3,187,835	30.0	3,032,458	28.4	155,377	3,132,970	29.6
負債合計	8,054,230	75.9	8,281,089	77.7	△ 226,858	8,045,541	76.0
少数株主持分							
少数株主持分	—		—		—	—	
資 本 の 部							
I 資本金	—		506,000		—	506,000	
II 資本剰余金	—		285,430		—	285,430	
III 利益剰余金	—		1,461,297		—	1,571,840	
IV その他有価証券評価差額金	—		119,788		—	178,519	
V 自己株式	—		△ 1,471		—	△ 1,663	
資本合計	—	—	2,371,044	22.3	—	2,540,125	24.0
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	10,652,133	100.0	—	10,585,667	100.0
純 資 産 の 部							
I 株主資本							
1 資本金	506,000		—		—	—	
2 資本剰余金	285,430		—		—	—	
3 利益剰余金	1,685,249		—		—	—	
4 自己株式	△ 2,009		—		—	—	
株主資本合計	2,474,669	23.3	—	—	—	—	—
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差額金	91,266		—		—	—	
2 繰延ヘッジ損益	△ 12,243		—		—	—	
評価・換算差額等合計	79,023	0.8	—	—	—	—	—
純資産合計	2,553,692	24.1	—	—	—	—	—
負債、純資産合計	10,607,923	100.0	—	—	—	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(千円未満は切捨)

科 目	平成19年3月期 当第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日		平成18年3月期 当第3四半期 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日		増 減	(参 考) 前連結会計年度 平成18年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
		%		%			%
I 売上高	5,542,063	100.0	5,458,074	100.0	83,988	7,799,887	100.0
II 売上原価	3,845,483	69.4	3,965,094	72.6	△ 119,611	5,704,279	73.1
売上総利益	1,696,580	30.6	1,492,979	27.4	203,600	2,095,607	26.9
III 販売費及び一般管理費	1,184,176	21.4	1,168,341	21.4	15,835	1,601,473	20.6
営業利益	512,403	9.2	324,637	6.0	187,765	494,134	6.3
IV 営業外収益							
1 受取利息・受取配当金	5,623		5,442		180	5,548	
2 雑収入	24,281		34,349		△ 10,068	39,013	
営業外収益合計	29,904	0.6	39,792	0.7	△ 9,887	44,561	0.6
V 営業外費用							
1 支払利息	60,898		56,285		4,612	76,237	
2 社債利息	2,168		2,168		0	2,870	
3 雑支出	13,075		49,453		△ 36,378	56,357	
営業外費用合計	76,142	1.4	107,908	2.0	△ 31,765	135,465	1.8
経常利益	466,165	8.4	256,522	4.7	209,643	403,230	5.1
VI 特別利益							
1 貸倒引当戻入益	1,182		—		1,182	—	
2 固定資産売却益	—		7,054		△ 7,054	15,526	
3 投資有価証券売却益	77,909		—		77,909	—	
特別利益合計	79,092	1.4	7,054	0.1	72,037	15,526	0.2
VII 特別損失							
1 固定資産除却損	4,810		2,399		2,410	2,607	
2 役員退職慰労引当金繰入額	129,858		—		129,858	—	
特別損失合計	134,668	2.4	2,399	0.0	132,268	2,607	0.0
税金等調整前四半期(当期)純利益	410,588	7.4	261,176	4.8	149,412	416,149	5.3
税金費用	211,611		142,238		69,372	186,669	
四半期(当期)純利益	198,977	3.6	118,937	2.2	80,039	229,479	2.9

(会計方針の変更)

重要な引当金の計上基準

・役員退職慰労引当金

役員退職慰労金について、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、引当金計上が会計慣行として定着しつつあることを踏まえ、また、在任期間にわたって費用配分することにより財務内容の健全化及び期間損益の適正化を図るため、当連結会計年度より内規を基礎として算定された支給見積額のうち当第3四半期末において発生していると認められる額を計上する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、当第3四半期末までの当期発生額10,362千円は「販売費及び一般管理費」に計上し、過年度相当額129,858千円は「特別損失」に計上しております。

この結果、従来の方と比較して、営業利益及び経常利益は10,362千円減少し、税金等調整前四半期純利益は140,220千円減少しております。